

デザイン 科	科目名	デザイン史	担当者	喜名 由香利
履修学科	デザイン科			
履修学年	第 3 学年	履修単位	2 単位	
概要及び目標	1. 造形とデザインの歴史を理解させ、実際に創造し鑑賞する能力と態度を育てる。			
評価基準 及び方法	1. 定期考査などによる評価 2. 調べ学習や提出物、発表等による評価			
使用教科書 及び教材	1. 高等学校用デザイン史（文部科学省）を教科書として使用します。 2. ファイル（一人一冊ずつ）とワークシートを配布します。			
その他留意点	1. 考査では、配布されるワークシートをその都度しっかり記入し内容を暗記することがポイントです。 2. 調べ学習や発表等では「発見しよう！関心を深めよう！」とする一生懸命な態度が重要です。			

学習計画

月	単元名	学習内容と方法	備考
4	1. オリエンテーション 2. 日本・西洋 原始・古代の造形文化	1. デザイン史の目標や目的、内容や評価の仕方について知る。(1h) 2. ①原始の住まい。原始の生活用具。(2h) ②装飾古墳。原始絵画。(2h) ③飛鳥・奈良・平安時代の造形活動と時代の特徴。(2h)	7
5	3. 日本・西洋 中世の造形文化	④オリエント、エゲ海文明(2h) ⑤ギリシャ、ローマ文明(2h) ⑥まとめ・中間考査対策(2h) 3. ①鎌倉・室町時代の造形活動と時代背景(2h)	8
6		②初期キリスト教文化(2h) ③ビザンチン文化(2h) ④期末考査対策(2h) ⑤イスラム文化(2h)	8
7	4. 日本・西洋近世の造形文化	⑥ロマネスク・ゴシック(2h)	2
9	5. 日本・西洋近代の造形文化	4. ①桃山・江戸時代(2h) ②ルネッサンス(3h) ③バロック・ロココ(2h) ④19世紀(2h) ⑤1学期のまとめ(2h) ①明治・大正時代(2h)	7 8
10		②昭和時代前期(3h) ③近代デザインのはじまり～アル・ヌボ～など～(3h) ④まとめ・中間考査対策(2h)	8
11	6. 現代の日本・西洋のデザイン	⑤近代デザインの成立と展開(2h) ①日本の戦後復興とデザイン(2h) ②海外のデザイン動向Ⅰ(2h) ③期末考査対策(2h)	8
12		④高度経済成長とデザイン(2h) ⑤日本のデザインの発展(2h) ⑥デザインの国際交流(2h) ⑦海外のデザイン動向Ⅱ(2h)	8
1	7. 研究と発表	⑧デザインの反省と将来への展望(2h) ①卒業考査対策(1h) ②一番印象に残った時代・造形活動は何でしたか(1h) ③日本と西洋の造形活動やデザインを比較してみよう(1h) // の共通点を探してみよう(1h)	6
2		④デザインとは何か、デザインするのに必要なことは何か?(1h) ⑤これからのデザインには何が求められるか?(1h)	2

